

ワークショップ | きっと、会ったこともない、誰かのため (に) シーズン7

SINCE 2016

富山県や北陸地方を舞台にした映画・アニメ・マンガ・小説には多くの優れた作品があります。このワークショップでは、彼女たちの立場や置かれた状況などを把握したうえで、その生き方や考え方、果たした役割や夢などを見出し自由に語り合ったり、表現したりします。そして、そこから未来へ生かすことのできるまちづくりのヒントやビジョン、ウェルビーイング（生きるために大切なこと）などを探ります。表現（コラージュ制作など）とディスカッション（会話）タイムに分けていますが、両方参加可能です。会場は富山県砺波平野独特の散居村にある民家を使用します。美しい田園地帯に囲まれた環境で、ゆったり、クリエイティブなひと時を過ごしませんか。

裏面のおすすめリストを参考に好きな作品を1点以上（何点でも可）ご鑑賞の上でご参加下さい。

概要・日程

ワークショップ「きっと、会ったこともない、誰かのため (に) シーズン7」

2022年

10月22日（土）～23日（日）2日間

表現タイム 10:30-12:00*1

語り合いタイム 14:00-15:30*2

北陸を舞台にした作品（文学、映画、アニメ、漫画など）を各自が調べ、テーマに沿った表現（任意）、または考えをまとめ、それをもとに話し合います。表現と語り合いタイムがあります。ともにゆっくり雑談しながらやります（どちらかひとつでも両方でも参加可能）詳しくは裏面をご覧ください

関連イベント

トーク「描かれた北陸富山の女性たち」

10月29日（土）

10:30-12:00 オンライン

17:00-18:30 現地開催（オンラインはありません）

*プロジェクションに合わせ天候不順の場合は翌30（日）同時刻に延期

北陸を舞台にした作品からいくつか取り上げ、そこに描かれた女性たちの生き方、考え方、役割などに視点を向けた見方と鑑賞ポイントをご紹介します

進行：NPO法人 Nプロジェクト ひと・みち・まち 山下清子

スピーカー：シネマティック・アーキテクチャ東京ディレクター 緒方恵一

プロジェクション「TAKAOKA ILLUSION 2022」

10月29日（土）19:00-20:00 *天候不順の場合は翌30（日）同時刻に延期

これまでのワークショップでの表現を映像化し散居村の民家に投影

会場

（全セッション）民泊きよんさ<高岡市戸出吉住 328>JR 城端線戸出駅より徒歩 20分

事前オンライン説明会

10月2日（日）10:30-11:00

作品の鑑賞方法、表現方法などについてご説明します

参加方法

（事前予約申込制）（各回定員 10名 / オンライントーク 20名）

氏名、連絡先、セッション名を記入のうえ、メールにてご連絡ください

各回ともオンライン参加を若干名募集します

プロジェクションに公共交通ご利用の上参加される方は定員に含まれません

参加費（会場参加、オンラインとも）

ワークショップ 500円（両タイムに参加できます）

トーク/プロジェクション 無料

お申込・連絡先（メール）

info@cinematicarchitecturetokyo.com

ワークショップ詳細情報ウェブサイト

http://cinematicarchitecturetokyo.com/ja/news/news_takaoka2022.html



主催

シネマティック・アーキテクチャ東京（東京都武蔵野市）/NPO法人 Nプロジェクト ひと・みち・まち（富山県高岡市）

（両団体による共催「富山・芸術文化・女性をキーワードに、人がつながる事業」）

協賛

富山県（関係人口1,000万人協働促進事業）



(左より『君の臍臓を食べたい』『サクラクエスト』『おもいで写真』『さいはてにて～優しい香りと待ちながら』『もみの家』『月影ベイベ』)

開催要項

- *各セッションとも最初にオリエンテーションがあります
- *事前に北陸作品を1点以上選び、ご鑑賞しておいてください
作品の鑑賞方法などについては気軽に相談ください
(ご希望の方には鑑賞の手引きやおすすめ作品をなどお知らせします)
- *高校生以上どなたでもご参加可能です

A. 表現タイム

材料はこちらで用意いたします コラーージュやアッサンブラージュ、着色などのメソッドを使いますが 全員が同じものを作るのではなくインストラクターと相談して決めます
ご自分の表現方法を試していただいても構いません
表現未経験の方もご参加歓迎です

その場ですぐに結果を出さずに交流しながら作ります (ワークショップ終了後もフォローします)

B. 語り合いタイム

テーマ「描かれた北陸の女性たちに生き方、考え方、役割や夢」に沿った自由な解釈で気楽にディスカッション 作品を多くご覧になるほど見えて来るものがあります
このパートでの美術表現・制作はありません

*会場での飲食は (持込) 可能です (マイ食器/マイカップ等持参 ゴミはお持ち帰りください)

*「きつと、会ったこともない、誰かのため」:(会場近くの) 高岡市西藤平蔵の旧家をモデルにした木崎さと子による小説『青桐』(1984年第92回芥川賞受賞作品) から引用



(左より『花咲くいろは』『ナラタージュ』『はなれ瞽女おりん』『ここは退屈迎えに来て』『大コメ騒動』『あのこは貴族』)

参考作品リスト (北陸の女性が描かれている作品)

映画

『川っぺりムコリッタ』(2022)、『おもいで写真』(2021)、『あのこは貴族』(2021)、『大コメ騒動』(2021)、『もみの家』(2020)、『ここは退屈迎えに来て』(2018)、『ナラタージュ』(2017)、『真白の恋』(2017)、『さいはてにて～やさしい香りと待ちながら』(2016)、『アオハライド』(2014)、『blue』(2003)、『螢川』(1987)、『はなれ瞽女おりん』(1977) など

アニメ

『君の臍臓を食べたい』(2018)、『サクラクエスト』(2017)、『花咲くいろは』(2011)、『true tears』(2009) など

小説

『遠の眠りの』(2019作)、『メガネと放蕩娘』(2017)、『幸せすぎる女たち』(2013)、『ここは退屈迎えに来て』(2012)、『透光の樹』(2004)、『谷間の女たち』(1989)、『青桐』(1985)、『螢川』(1977) など

マンガ

『カノジョになりたい君と僕』(2018-)、『月影ベイベ』(2013-2017)、『ほしのふるまち』(2006)、『鱗粉葉』(2000)、『blue』(1996) など



(これまでの参加者の表現とプロジェクション 2019)